

ポスターテーマの選定理由、作成経緯

- ・関節リウマチは有病率が高いが、治療法も近年、飛躍的に向上し、症状のコントロールが容易になった疾患でもある。にもかかわらず、「お年寄りの病気」「まれな病気」「一度かかったら治らない」といった間違っただイメージを持つ人は多い。発症しやすい年齢や症状、治療薬など関節リウマチについて理解してもらい、早期発見、治療の大切さを患者とその家族、疾患を持たない人々に訴えたいから。
- ・特殊な服用方法であり、治療によく用いられるリウマトレックスを具体例としてあげ、患者が分かりやすいように、イラストをつけ、言葉遣いに気を付けた。

正しく知ろう！

関節リウマチ

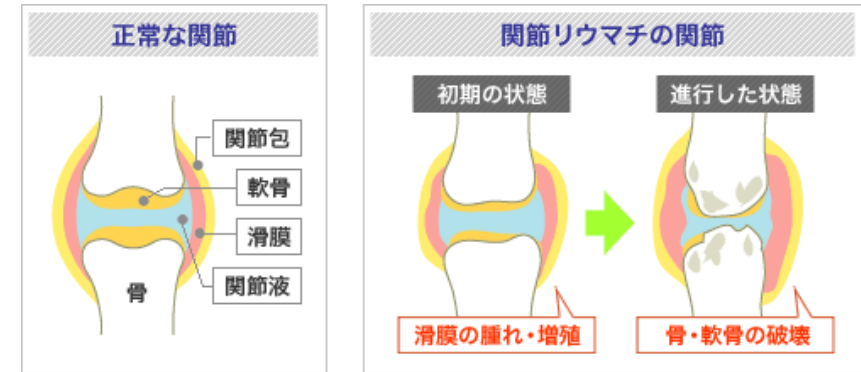


薬学類 5年
伊藤、加賀野井
川井、藤吉、村田

関節リウマチってどんな病気？

関節リウマチでは、おもに関節の内側にある滑膜に炎症が起こることによって関節の痛み、腫れが生じ、この症状が続くと関節の変形をきたします。

遺伝による体質にウイルスなどの刺激が加わり、免疫に異常が生じて起こるといわれています。



関節リウマチの病因



どんな症状がでる？

関節症状

関節痛

安静にしていても痛む「自発痛」
押すと痛む「圧痛」
動かすと痛む「運動痛」



関節のこわばり

炎症が続くと、
関節付近の軟骨や骨が
壊れて変形し、
動かせる範囲が狭くなってきます。



関節の変形

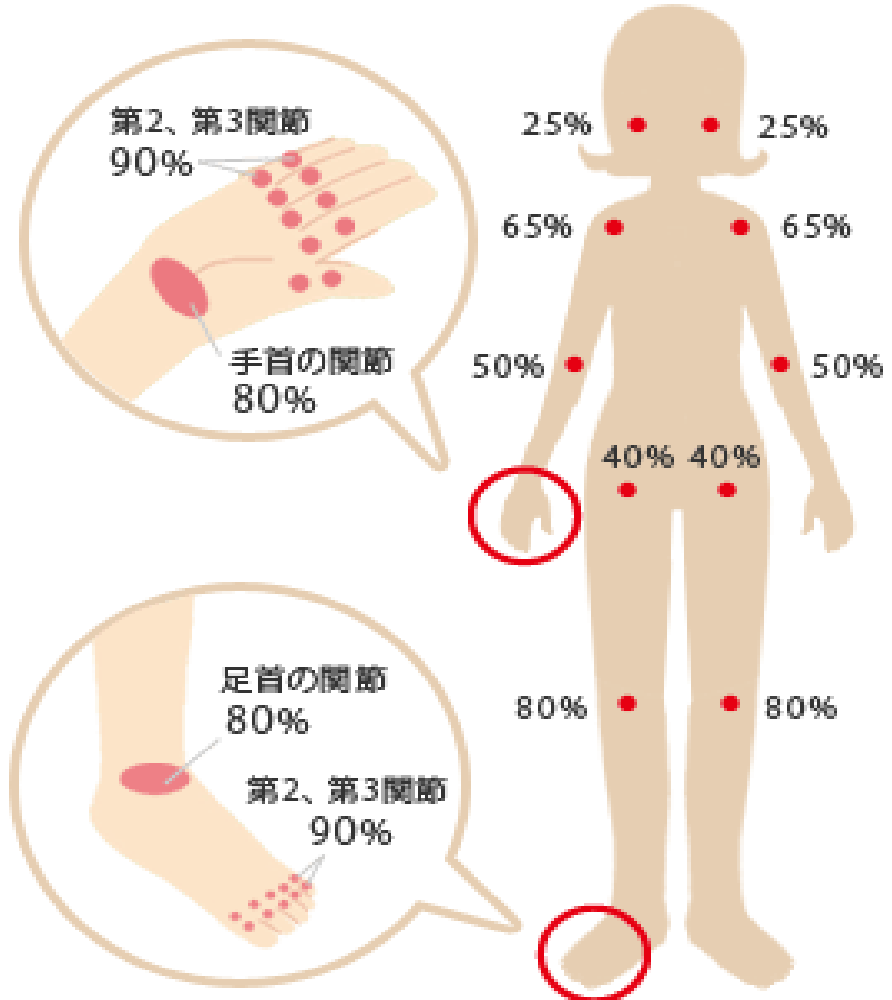
手足や膝の関節が
動きにくくなります。



ボタンホール変形 スワンネック変形



尺側偏位 Z型変形



どんな症状がでる？

関節外症状

<https://www.astellas.com/jp/health/healthcare/sp/ra/02.html>

皮膚の症状

皮膚の下にこぶ状のしこいができる。ひじやひざなど圧迫を受けやすい部位にみられる。

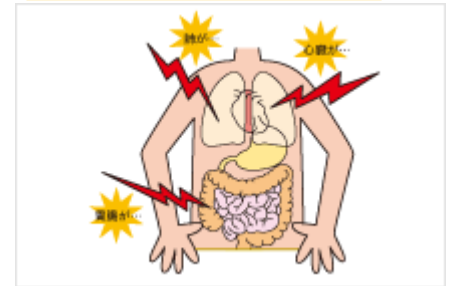


目の炎症

強膜に炎症が起こり、角膜の充血や眼の痛みが起こる。



血管の炎症



血管の炎症によって酸素や栄養が十分行き渡らなくなり、さまざまな臓器に障害があらわれる。

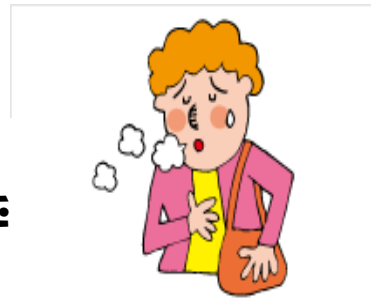
全身の症状(だるさ、疲労感、貧血)

微熱がでたり、食欲がなくなり、体重が減少することもある。



肺の炎症

肺の間質に炎症が起こり、息切れや呼吸困難を起こす。



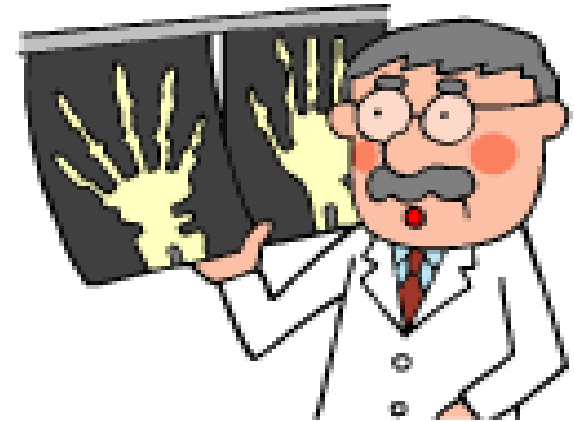
症状の経過は？

関節の炎症・破壊は発症後2年間が最も進行しやすく、約70%の患者さんに起こるといわれています！

そのため早期診断、早期治療を行い、早めに症状を抑えることが寛解に持ち込むために重要です！

※**寛解**とは…

病気の症状がほぼ消失し、臨床的にコントロールされた状態を意味します。



初期症状

(手足の指の関節に左右対称に痛みや腫れ、こわばり)が見られたら早めにお医者さんに診察してもらいましょう！

どんな人がないやすい？

有病率・・・1～2%(65歳以上では10%)



好発層・・・20～50歳代
男女比1:3～1:6
(高齢者は男女比が接近)



どんな薬を使うの？

1) 抗リウマチ薬 (DMARDs)

免疫の異常に直接働き、炎症を抑える薬です。効果が出るまで2~3ヵ月ほどかかり、**できるだけ早い時期**にこのタイプの薬を飲み始めると、病気の進行を抑える**効果が高い**ことが分かっています。



抗リウマチ薬

2) 生物学的製剤

生物によって作られるタンパク質などを利用した**新しいタイプの薬(注射薬)**です。他の治療薬で効果がなかった方にとっては、**画期的な薬**です。



生物学的製剤



どんな薬を使うの？

3) 非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)

炎症による腫れや痛みをやわらげます。

速効性はありますが、リウマチの進行を抑える効果は弱いです。



非ステロイド性抗炎症薬

4) 副腎皮質ステロイド薬

炎症を強く抑える働きがあり、痛み、腫れ、こわばりなどの症状に効果があります。高用量を長期に飲み続けることで、感染症を起こしやすくなったり、骨粗鬆症や動脈硬化を引き起こす可能性などがあります。




副腎皮質ステロイド薬

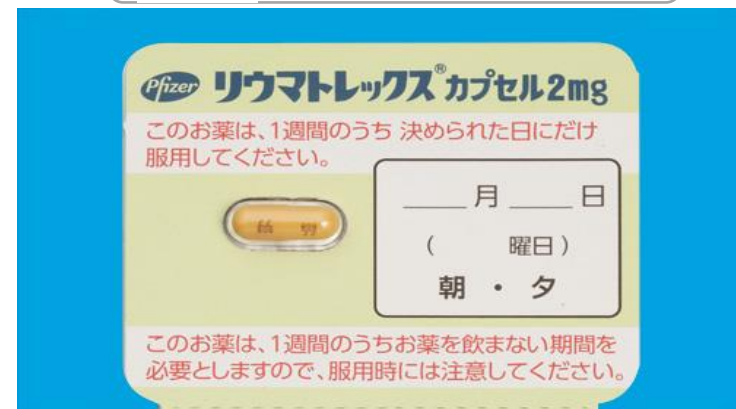


薬の飲み方

リウマチの薬の中には**特殊な飲み方**をする薬があります!

例)治療によく使われる**リウマトレックス**と**フォリアミン**というお薬は**効果の発揮**と**副作用の減弱**のため一週間で以下のように飲むことが大切とされています。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
							
							



リウマチにならないために

- 1) 身体にストレスをかけない!
- 2) 禁煙しましょう!
- 3) バランスの良い食事を!
- 4) 適度な睡眠、休養を!
- 5) 関節に負担をかけない工夫をしよう!
 - ・荷物を運ぶ時に肩掛けカバンを利用する
 - ・家事は立たずに座ってする など



リウマチのリスクファクターを
取り除きましょう!

**決められた用法・用量で
正しく薬を飲みましょう**

**分からないことがあったら、
お近くの医師、
薬剤師にご相談を！！**

